

安全とはかけ離れた「安全宣言」 千葉支社は直ちに掲示板から撤去しろ！

四月一日以降各職場の業務掲示板に、JR千葉支社とJR東労組千葉地本連名による「『安全宣言ちば』—さらなる安全性の向上に向けて—」なる文書が掲示されている。

一労組の単なる 確認文書でしかない

しかし、この文書 자체、JR 東労組という特定の組合との連なる確認にしかすぎない文書であり、それを業務掲示板に掲出し、その内容を「業務」として強制しようとするなどは、本来あつてはならないことであり、言語道断のことと言わなければならぬ。

本来、一安全」という場合に

は、労働組合の如何を問わず全ての労働者の問題であり、そこを基本にして安全が確保されなければならないはずである。とにかく、JR東日本には複数の労働組合が併存し、千葉支社の場合は、動労千葉が運転職場の半数を占めている状況だ。それにもかかわらず、JR東労組と連名の文書を掲出し、それで安全が確保できるとする会社の姿勢こそ安全を軽視していると言わなければならない。

**「業務」としての
強制は止めろ！**

JR東労組とは、JR東日本

安全を根底から 覆す「シニア協定」

明らかた
しかも、その確認文書の内容
たるや、安全とは全くかけ離れた
内容であり、とても「安全宣言」
などと呼べる代物ではない

「業務」として強制するといふこと自体余計な混乱を職場に持ち込み、不安を煽る結果になることは勿論のことであり、一回りも安全に寄与するものではない。逆に安全を踏みにじるものでしかないことは火を見るよ

の力を背景にしながら、「企業一組合」を叫び、動労千葉や国労など併存する組合を解体の対象にして、脱退強要などの露骨な組織破壊攻撃に手を染めてきた労働組合だ。こうした組合と

安全を盾にして結託体制維持を狙う

そして、結論の部分で、「去三回の『労使共同宣言』を踏まえ「いかなる外部干渉を排除する」」」と/orに及んでは何を

理化一人減らしに反対しない、
ふうことであり、自ら安全を主
張するとふうことにほかならぬ
べ。

日に改悪しようとしている。因不明の事故や故障が頻発する状況の中で、検査周期が延伸されるということは、重大事故がさらに多発することを意味している。こうした状況の中で、「ニア協定」を認めるということは、今後あらゆる業務委託やは

の根絶とあらゆる効率化を推進することを骨子とする内容になつており、JR総運革マルが組織の危機に直面する度に出されてきたものだ。この労使共同宣言に基づいてあらゆる効率化・合理化・人減らし・検査周期の延伸等が強行されてきた。これにより現在の列車運行能力の壊滅、原因不明の事故や故障が発し、ほとんど毎日輸送混亂が発生するという状況に陥つたのだ。まさに安全を崩壊の危機に追い込んだのは会社・JR東労組革マルだということだ。

東労組と確認し、職場に掲示するということを行った会社の責任は重大である。この内容からすれば、会社とJR東労組が一體となつて、労使共同宣言を締結していない動労千葉や国労に対しても組織破壊攻撃をかけることを宣言するということだ。

われわれは、こんなことは絶対に許すことはできない。組織崩壊の危機に瀕しているJR東労組をさらに追い詰め、解体するためには組織の総力を挙げて闘いぬこう！組織拡大の闘いをさらに前進させよう！

会社は、「安全宣言」を掲示

東労組が言いたいのは、「安全」
ながるのだろうか。結局、JR
という全ての労働者の問題を盾
にしながら、本当の目的はJR
との結託体制を何とか維持した
い、自分たちを切り捨てないで
くれという、哀訴にほかななら
いのだ。

そして、「外部干渉の排除」についても、この間のJR東労組革マルの言葉を列記してみると、「JR東海社長の葛西が完全民営化に反対してJR東日本の社長の座を狙っている」「これはJR東日本と東労組に対する組織破壊攻撃だ」「その手先になつてゐるのがJR連合や国労だ」「葛西の入場を阻止せよ、松田社長を守れ」というものだ。これのどこが安全の確立につ